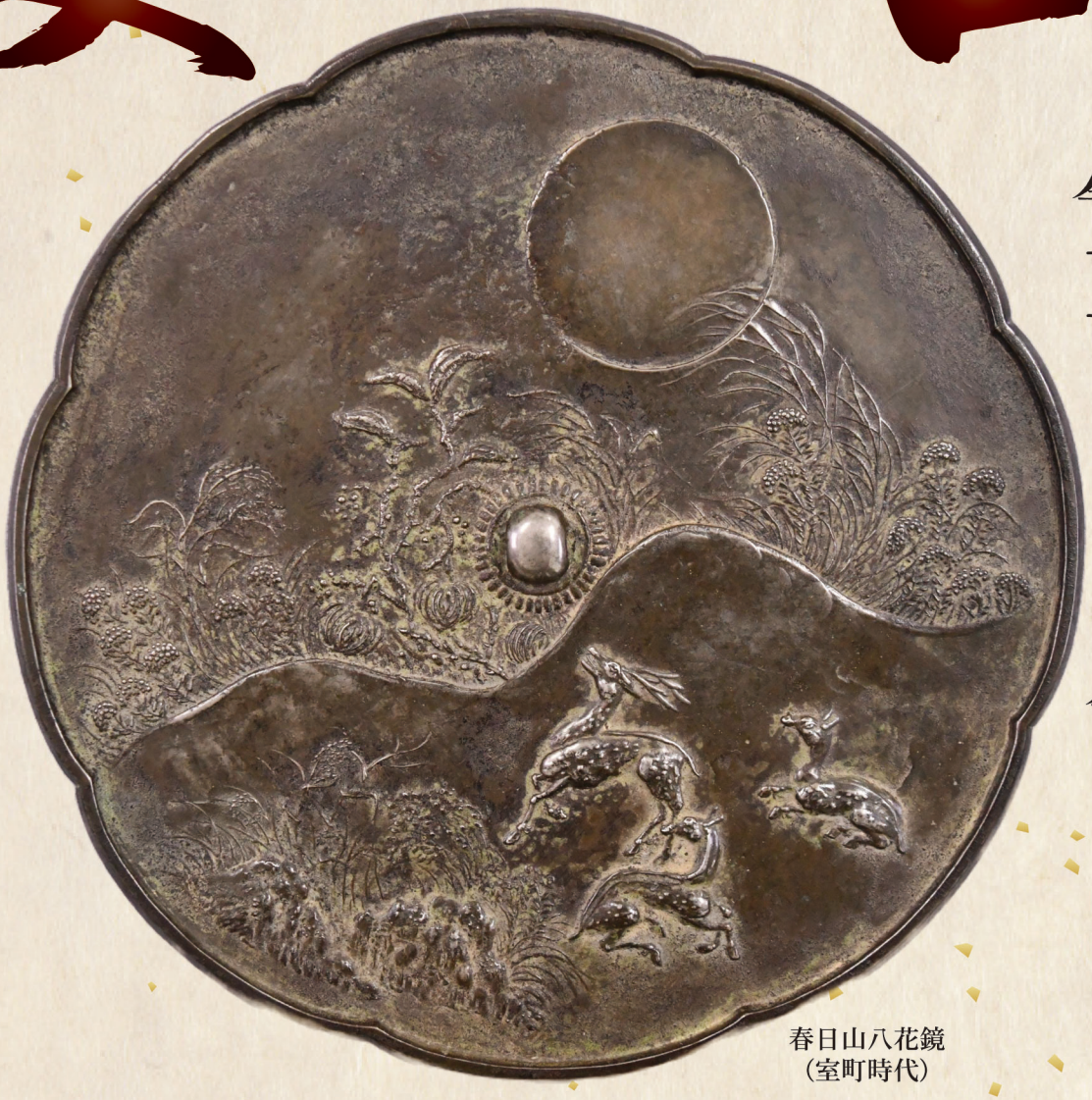
愛古玩鏡

石巻市博物館
ISHINOMAKI CITY MUSEUM

令和8年
11/14(土)
〜
令和9年
3/7(日)



春日山八花鏡
（室町時代）

毛利コレクション特集展
毛利総七郎の古鏡コレクション

常設展示室・毛利コレクション展示室

開館時間：9時～17時（最終入館16時30分）
※会期中、一部展示替えを行う。

観覧料：一般300円／高校生200円／小中学生100円（常設展示室観覧料）
※20名以上の団体は2割引、各種手帳・ゆうゆうパスポート等の提示で無料

休館日：月曜（祝日の場合は翌日休館）

古鏡愛玩 ―毛利総七郎の古鏡コレクション―

神獣鏡（漢時代）

石巻の住吉に生まれ育った毛利総七郎（1888～1975年）は、家業の醤油味噌醸造等に勤しむかたわら、様々な研究者、収集家、骨董商らと関わり、生涯で 10 万点を超えるコレクションを築きました。

毛利は、俳号（句を詠む際の一種のペンネーム）を「古鏡（ふるかがみ）」と名乗り、生涯で少なくとも 561 点の鏡を集めるなど、鏡に深い関心を寄せていました。毛利の古鏡コレクションは、平安時代から江戸時代までの和鏡を通時的に含むとともに、中国の漢鏡もカバーしており、その量の多さと質の高さから、石巻市の指定文化財となっています。

今回の展示では、漢鏡と和鏡を時代順に展示するとともに、絵画や工芸との文様の関わりについても紹介します。また、鏡箱や鏡台に加えて、化粧道具や化粧をする人物を描いた浮世絵なども展示します。加えて、毛利宛ての書簡から、古鏡の収集経緯や和鏡研究の第一人者・広瀬都巽（とそん）との交流にも触れます。

この展示を通じて、毛利が昔の鏡や化粧に向けた眼差し（関心）を探るとともに、現在の暮らしについて改めて考える機会となれば幸いです。

芦雁鏡（羽黒鏡・平安時代）

水草双鳥鏡（鎌倉時代）

瑞花双鳳八稜鏡（室町時代）

千社札「古鏡」（近代）

「水」字・波図柄鏡（江戸時代）

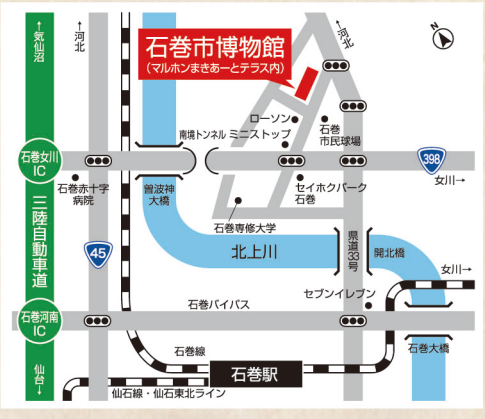
御鏡看板（江戸時代）

関連イベント

博物館講座

「いにしへうつす古鏡
―毛利総七郎の古鏡コレクションの特色について―」

日　時：令和８年12月13日（土）13：30～15：00
場　所：マルホンまきあーとテラス 大研修室
定　員：８０人（参加無料、申込不要）
講　師：小野 雄希（当館学芸員）



ACCESS

公共交通をご利用の場合

仙台駅▶石巻駅
電　車：JR仙石東北ライン 仙台駅1~6番ホームから乗車で約60分
　　JR仙石線　仙台駅9～10番ホームから乗車で約85分

石巻駅▶マルホンまきあーとテラス
タクシー：石巻駅前タクシー乗り場から乗車で約10分
路線バス：石巻駅前1番乗り場から石巻専修大学線に乗車で約13分
　　「総合運動公園(石巻)」で下車し、徒歩約2分

お車でお越しの場合

三陸自動車道 石巻女川ICから約5分
駐車場無料(347台)

問合せ
〒986-0032 宮城県石巻市開成1 - 8 (マルホンまきあーとテラス)
石巻市博物館学芸係 ☎0225-98-4831　culcenter@city.ishinomaki.lg.jp